

日本学術会議 課題別委員会  
自然災害軽減のための国際協力の在り方検討委員会  
技術協力・被災地支援分科会（第3回）議事要旨

1. 日時 平成22年8月6日（金） 12:10-12:55
2. 場所 日本学術会議 6-C（2）会議室
3. 出席者 和田、藤原、鈴木、福和、田村、小松、館（五道代理）、千木良  
＜欠席者＞今村、入倉、川島、五道
4. 議題：
  - 1) 前回議事要旨（案）の確認
  - 2) 技術協力・被災地支援への取り組みに関する暫定とりまとめと議論
  - 3) その他
5. 配布資料
  - 3-1 前回議事要旨（案）
  - 3-2 国際的な技術協力・被災地支援への取組の整理に向けて（五道委員）
  - 3-3 技術協力・被災地支援分科会 5つの取組みに照らして（鈴木委員）
  - 3-4 5つの視点からのとりまとめ
  - 3-5 「大規模地震災害の影響評価と情報発信」WGにおける検討状況（福和委員）
  - 3-6 技術協力・被災地支援分科会資料（田村委員）
6. 議事概要
  - 1) 議事要旨を確認した
  - 2) 田村委員から資料3-6の説明があった。  
サイバーインフラ、サイクロンからの避難、警報システムなどについて質疑があった。
  - 3) 館氏（五道委員代理）から資料3-3の説明があった。
  - 4) 鈴木委員から資料3-3の説明があった。
  - 5) 福和委員から資料3-5の説明があった。  
大規模地震災害の影響評価と情報発信 WG の検討状況について報告され、また、ルーマニア、中国四川省などの経験から耐震化の教材を作ることの有用性が述べられた。また、防災の普及のために、防災フェスタのような機会も有効であると述べられた。
  - 6) 千木良委員から資料3-4の説明があった。  
災害事象として土砂災害を加えたこと。  
土地利用と土砂災害の関連について、質疑があった。斜面の裾は水が得やすいので、そこを住居として土地利用することが多い。
  - 7) その他  
検討のとりまとめは、災害の事前、直後、復旧・復興の3時期に分けて行うことになった。  
次回分科会は、9月13日午後4時から6時。  
その次は、9月29日午前9時30から12時30、

以上